

危険防止のための電池取扱い上の注意事項

この電池は、ガラスシールとレーザー溶接シールによる完全密閉構造をしております。

電池内部には、リチウムと塩化チオニル(腐食性がある無色刺激臭の液体)を内蔵しております。

電池の取扱いを誤りますと[発火・発熱・漏液・破裂]等により、怪我をしたり、火災に至るおそれがあります。開封前、使用中、使用後についても万が一の事故防止のため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

1. 充電禁止。

電池を充電すると電池内の電解液が沸騰したり、ガスの発生で内部圧力が上昇して、電池を発火・発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

2. ⊕と⊖を逆にして使用しないでください。

充電などで異常反応を起こして、電池を発火・発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

3. 指定用途以外に使用しないでください。

電圧や端子構造などが機器と適合せず、接触不良を起こして、仕様や性能が合わない場合があります。電池を発火・発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

4. 火中投入、分解、変形、加熱、改造しないでください。

絶縁物やガス排出弁などを損傷して、電池を発火・発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

5. 乳幼児の飲み込みに注意してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万が一、漏れた液をなめたり、電池を飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

6. 漏液や異臭がするときは、すぐに機器から取り外してください。

電池から漏れた液や発生したガスによって機器の金属部を腐食させるおそれがあります。

7. 電解液が目に入ったとき、医師に相談してください。

目に障害を与えるおそれがありますので、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、医師の治療を受けてください。

8. ショート(短絡)させないでください。

電池の⊕と⊖を針金などで接触したり、また金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池がショート状態となり、過大電流が流れて、電池を発火・発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

9. 混合使用しないでください。

新しい電池と一度使用した古い電池、種類の異なる電池などを混用しないでください。特性の違いから、電池を発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

10. 電池に直接ハンダ付けしないでください。

電池に直接ハンダ付けすると、加熱によって電池内部が損傷し漏液したり、電池内部のショートによる発熱で破裂・発火することがあります。また、自動ハンダする時は、基板に取り付け、電池取り付け端子のみをハンダ槽に浸してください。この時、ハンダ浴槽上に長時間停滞させたり、浴槽に落下すると、加熱によって破裂・発火の恐れがあります。

11. 投げたり、衝撃を与えないでください。

電池に強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。電池を発火・発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

12. 廃棄や保管の場合、テープなどで端子部を絶縁してください。

他の金属や電池と混ざると発火・発熱・破裂することがあり、怪我をしたり火災に至るおそれがあります。

⚠注意

1. 炎天下の車内、直射日光、高温、高湿の場所を避けて保管してください。

電池の性能劣化を大きくし、発熱・漏液・破裂させるおそれがあります。

2. 機器に使用するまでは包装パック中に保管してください。

保管状態によっては、電池の⊕、⊖端子部が金属片と接触し、ショート状態となり、発火・発熱・破裂することがあります。

製造・外注先・営業部門等関係部署にご徹底ください。

東芝電池株式会社



株式会社 荏原計器製作所

東京都品川区小山台1丁目2番4号

電話 東京 3714-4561 番(代表)

ファックス (03) 3710-1523 番